

## 富士フィルムとアニコム ホールディングス

再生医療を中心とした動物の先端医療技術・サービスを開発・提供する合弁会社  
「セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社」が業務を本格的にスタート

2016年9月29日

富士フィルム株式会社  
アニコム ホールディングス株式会社

富士フィルム株式会社(社長:助野 健児、以下 富士フィルム)とアニコム ホールディングス株式会社(社長:小森 伸昭、以下 アニコム)が設立した合弁会社「セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社」(社長:牧野 快彦)は、10月1日より業務を本格的にスタートします。セルトラスト・アニマル・セラピューティクスは、動物の先端医療分野において、再生医療<sup>※1</sup>を中心とした革新的かつ高度な医療技術およびサービスを開発・提供していきます。

セルトラスト・アニマル・セラピューティクスは、富士フィルムが写真フィルムで培った高度な生産技術や品質管理技術、再生医療に関する技術、画像診断技術、血液の化学成分の分析技術と、アニコムの動物病院ネットワーク、電子カルテシステム、豊富な診療情報を組み合わせることにより、動物の先端医療分野で再生医療を中心とした革新的かつ高度な医療技術およびサービスの開発とその実用化を図ります。

実用化した技術・サービスを普及させていくために、動物病院との連携、アニコムグループのペット保険との組み合わせなどにより、動物先端医療の新たな仕組みを提供します。このような新たな社会システムの構築は、ヒトの再生医療への応用にも資する先駆的な取り組みです。

<セルトラスト・アニマル・セラピューティクスの具体的な事業内容>

### ・動物の先端医療の開発～診療

動物の先端医療技術・サービスのトランスレーショナルリサーチ<sup>※2</sup>を実施し、動物の先端医療の開発と診療行為が一貫して行える実用化拠点を神奈川県に開設。実用化拠点では、大学や企業と共同で、細胞治療に関する診断方法から治療方法までの診療法を開発し、さらに実際の診療に応用することで、先端医療技術・サービスの実用化を図ります。本拠点には、①治療に用いる細胞の培養設備と品質保証体制、②サイエンスに基づいた先端医療の基礎研究から臨床開発までを行うための研究設備、③診療を実施する医療設備を設置します。

### ・先端医療ソリューションの提供

実用化拠点で開発した先端医療技術・サービスなど先端医療ソリューションを、一次診療<sup>※3</sup>を行う動物病院(以下 一次診療病院)で実践できるように提供していきます。また、医療費負担の軽減にむけて、アニコムのグループ会社の新規ペット保険の開発にも協力していきます。

### ・医療情報サービスの提供

一次診療病院で先端医療を実施していくために、一次診療病院で撮影された検査画像を外部の読影の専門家に共有し、専門家が所見を送るサービスを提供していきます。さらに、診療によって得られた効果や画像データなどのエビデンスを蓄積・活用することで、より精度の高い診療法の開発を目指していきます。

## 【セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社の概要】

会社名	セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社 (Celltrust Animal Therapeutics Co., Ltd.)
所在地	東京都港区赤坂 9-7-3
設立日	2016 年 4 月 1 日
資本金	50 百万円 (出資比率 富士フイルム:51%、アニコム:49%)
事業内容	動物の先端医療技術及びサービスの開発・提供
体制	代表取締役社長 牧野 快彦(富士フイルム出身) 取締役副社長 亀井 達彦(アニコム出身)
従業員数	14 名
URL	<a href="http://celltrust.jp/">http://celltrust.jp/</a>

---

※1: 再生医療は、人工的に培養した細胞や組織などを損傷した臓器や組織に移植し、患部の機能を回復させる医療技術です。

※2: トランスレーショナルリサーチとは、研究室で発見された基礎的な知見や技術について、臨床応用の可能性を評価しなおして、臨床の場に使われるまでに育てること。すなわち、基礎(研究)と臨床(実用)との橋渡しをする研究です。

※3: 通常の外来診療。広く一般の患者の受け入れを行う病院を一次診療病院という。特定の疾患領域など、専門的な診療を行う病院を二次診療病院という。

---